幼稚園・保育所編

3 幼保小の相互理解をめざした研修

ねらい

幼児・児童の発達段階と相互の教育内容や指導方法を理解することができる。 発達の見通しをもった保育・教育につなげることができる。

具体的なすすめかた~保小で合同活動をした事例~

(1)事前準備

合同活動参観の視点を明確にしておく。

< 例 >

幼児と小学生それぞれのねらいに沿った活動になっているか。 幼児と小学生がそれぞれ主体的に活動できる場があるか。 視点を決めておくことで、参観後の話し合いの深まりにつながります。





(2)合同活動の参観

参観しながら、あらかじめ確認した視点を中心に、保育者・授業者の声かけやかかわり等、感じたことを付箋紙に記入する。(参観後にまとめて付箋紙に書いてもよい。)



(3)協議・意見交換会の準備

意見交換会の流れを確認する。

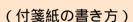
よかったことや困っていることを付箋紙に書く。

本日の合同活動について

黄緑色の付箋紙

自園・自校の連携を振り返って

ピンク色の付箋紙



横書きで、読みやすい大きい字で書きましょう。 1 枚の付箋紙には、1 つの内容を書きましょう。



(付箋紙の書き方例)

個に応じた声かけが なされていたいた



(4)協議・意見交換会

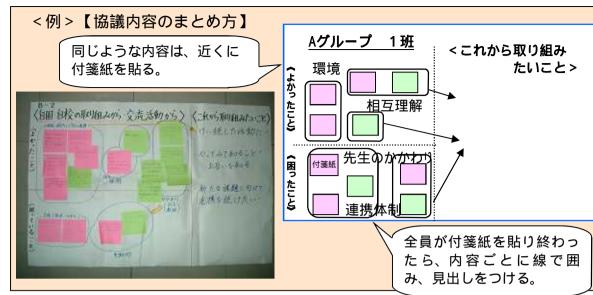
合同活動を参観した感想を出し合う。

- ・付箋紙に書いておいた感想を短いコメントを 加えながら模造紙に貼る。
- ・自分が書いた内容と意見が似ているときは、 続いて発表し、付箋紙を近くに貼る。
- これからの連携について考える。
- ・自園・自校でやってみたいことやヒントになるようなことを出し合う。
- ・出た意見は模造紙にまとめていく。

合同活動を参観して よかった点は・・・



境境構成に ついては...





(5) グループ発表

各グループの代表者が、これから取り組みたいことを理由を 含めて発表する。



保育や授業を参観したり合同活動をしたりした 後、幼保・小のそれぞれが研究会をもち、視点に 沿って話し合うことが大切です。



(6)まとめ

グループから出た意見をまとめ、これから取り組む内容について確認し合う。 また、合同活動や意見交換をして感じたことを振り返る。

幼保小の連携をすすめるにあたって

幼稚園・保育所・小学校の相互理解をめざして、見通しをもって保育・授業を参観し たり、合同活動を行ったりすることが大切です。 <保育所と小学校の年間計画> 保育所と小学校が 4月 5月 人業式 子がもの日 昨人男教達会 数学選挙 信言等観点が 気勢り 27人意取会 数小連絡会 数件機合 合同で交流計画を 10月 六日満世 最の保育 様子連絡会 12月 1月 なかよし意義会歴年子ども会 クリスマス会 保育参報 立てましょう。 WARRES OF MARINE S. S. 連接を連合第一第1回発表 会議(16D) 第2回原連 金額(((II) 学/医療庫 会議(4世) 第4回規律 いっしょに置け 5~LoffE9 ~(8日) あきたあるなり 合同活動を行う際、年 作生との受し 間指導計画に位置付け 製造料交換 一ときどきた のしいフェス 生活料で 保存が展子 2年生との発達 交流学年 ることも大切です。 は? |年度が存在と なって選びを 進める。(27 田) 一方氏の手紙 を集ける 保育や授業参観後 をおけ 大・ゼント車に sterogy に話し合いをもち ます。 小学校1年生 の研究等 保育等分類與 育(1(年) 1802F1 幼児教育と小学校教育の 会議学習得の 会議資産後の 関小金融資金 報子会議員会 (日4日) (日日) 特徴や関連性を理解し、 公開保育協の 保小全際自立 選手文章 大山田福祉 (20日) MANUE 発達や学びの滑らかな接 続をめざします。 対象文式 文式検索な